

祥賀新



平成二十三年

商工にのみや

第72号

発行者 二宮町商工会
二宮町二宮 1156-4

TEL (0463) 71 - 1082
FAX (0463) 72 - 2489

<http://www.shokonet.or.jp/ninomiya/>

編集責任者 武井健一
編集担当者 寺田隆志



商工会長
鈴木新



今年も厳しい経済環境が続
くと思いますが、商工会とし
ては小規模事業者の経営改善
支援事業を基本としつつ、二
宮ブランド開発商品の販売促
進や商店街の活性化支援、ま
た農商工連携への取り組みな
ども積極的に推進したいと考
えています。

平成二十三年の新春を迎え、皆様方のご理解とご協力の賜
謹んでお慶びを申し上げます。昨年は円高などの影響で景気
の減速感が強まり、私たち中小・零細事業者を取り巻く經營
環境は大変厳しいものがありました。

そのような中ではあります
たが、二宮町商工会創立五十
周年記念事業を成功裏に終了
できましたことは、ひとえに
兔は、その穏やかな様子から
家内安泰の象徴とされ、また
跳躍する姿からは大いなる飛
躍を表すものとして親しまれ
てきました。私たちの家庭や
商売についても、干支の兎に
あやかりたいと思います。

さて、今年の干支は兔です。
今年も会員および関係機関
の皆様と連携を図りながら全
力を挙げてまいりますので、
よろしくご協力いただきます
ようお願い申上げます。



二宮町町長
坂本孝也



の整備を進め、経済の活性
化を図りたいと考えております。
これに効率的な行政運営が加われば、小さいな
がらも足腰の強い、生活基盤の整ったまちへと大きく
前進します。

皆さまにおかれましては、そのために今後は近隣自治体
お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

と多方面での連携が必要となる
ります。広域行政の潮流の中

次世代のため、住む人が
誇りを持つことができるま
ちづくりのため、皆さまの
前進します。

昨年十一月に町長として一期目の任期を終え、引き続き
二期目の重責を担うこととなりました。

昨年十一月に町長として一
で、周辺部としてただ流れに
任せているのでは、二宮の持
つ良さや特色が埋もれてしま
います。地域資源を生かした
二宮ブランドの普及と共に、

次世代のため、住む人が
誇りを持つことができるま
ちづくりのため、皆さまの
前進します。

町の将来を考えるとき、長期
を見据えた戦略が不可欠です。
吾妻山を中心とした観光拠点

を、これからも日々挑戦し
てまいります。

商工のみや



商業部会

部会長 工藤行雄

地場産業振興協議会 田中敏雄

新年あけましておめでとうございます。昨年は商工会創立五十周年という大きな節目の年でありました。商業部会としましても、商工会と連携し五十周年記念企画として「全町大売出し」というイベントを行いました。おかげさまで、商工まつり当日は長蛇の列でたくさんの方々にイベントを楽しんでいただけることができ、一定以上の経済効果が見込まれたものと自負しております。参加協力していただいた事業者の皆様にお礼を申し上げます。

今後とも消費者ニーズをふまえ、「景気浮揚の一助となる」とを念頭に推進していきたいと思っております。

工業部会長

浅田新吾

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

商工業の会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えた事、心よりお慶び申し上げます。ここ近年は、サブプライムから始まり、リーマンショック、そしてギリシャの破綻とアルランドのユーロー国においての金融危機とグローバルな経済の変動があり、国内においても不動産業、マンショングローバーの倒産とか中堅大手が軒並みにつぶれ、消滅企業は倒産の二倍といわれています。皆様方が一番関心があるのは国内産業のデフレ脱却への道のりであると思います。国内産業の空洞化の施策が叫ばれて永年たちますが、各地の商工会が地場産業のB級グルメとか、発展と町おこしに頑張っている今日、二宮工業部会として本年も講師をお呼びびし、町おこし、工業の発展を期待し良い年となりますように祈年いたします。

建設工業部会

石塚興次

商工会女性部

原啓子

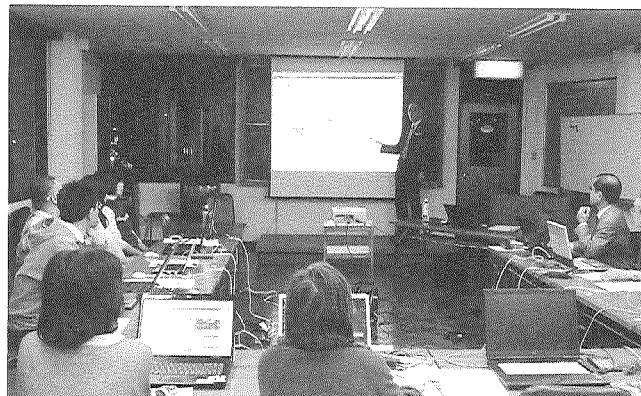
建設工業部会は、二宮建設工業会を主体にした、家作りの専門業者の集まりで、二宮各町内で活躍しております。建設工業会では、観光協会主催のよさこい祭り、商工まつり等、町商工会のイベントに、参加協力してまいりました。当会主催で、例年四月始めに、夜桜ライトアップを、会員一同頑張って開催しております。

これからも町及び商工会のイベント、会の活動に一生懸命頑張つて、いきたいと思います。家の相談等ございましたら、地元会員の業者に、お願い致します。

経営革新塾
事業報告

事業報告

塾



ビジネススブルゴ

平成22年11月18日(木)より毎週木曜日全4回にわたりビジネススブルゴ作成講習会を開催いたしました。本講習会は平成21年度に好評でしたので、皆様からの要望により平成22年度にも開催いたしました。講師はウエブマークティングに精通されている(株)スマッシュ代表取締役竹内幸次先生にお願いしました。パソコン持参や基本操作等の条件のある中、定員10名ちようどの申し込みがあり、関心の高さがうかがわされました。



本事業は、平成21年度好評であった県提案型事業ビジネススブルゴ作成実習を主題として、県経営革新計画承認を視野に入れた講義および実地研修を実施することを目的に、全国商工会連合会より受託事業として採択され実施いたしました。

講師は、全4回とも中川技術研究所中川孝博先生(中小企業診断士)にお願いしました。また、4日目のグループ討議については上田デザイン事務所上田滋生先生にもご協力いただきました。

第1回

9月12日(日)

経営革新の必要性・支援策

ユニークの成功要因「顧客主義の徹底」

経営革新とは変化を探し、変化に対応し、変化を機会として利用する

産業構造の変化、人口構造の変化等に着目

経営戦略の類型として創造的模倣戦略、二ツ三戦略、顧客創造戦略(ブルーオーシャン戦略)

経営革新の難しさは成熟期の認識の難

に着目

経営戦略の仕方、ブックマークの設定、コ

メント、トラックバックの出し方・留意

点等

第2回

9月26日(日)

先進事例視察

神奈川県経営革新承認企業の実地視察研修

(株)おかべや(相模原市)

おからを使ったトルティの開発

(株)鐵サービス(綾瀬市)

移動式パン製造販売車の開発

(株)興電社(二宮町)

充電式LED斜め看板の開発

第3回

10月3日(日)

先進事例を振り返って

ケーススタディー「清酒製造業を例

に経営革新について考える

お金に関する基礎知識「財務分析・収益性・流動性分析」

第4回

10月17日(日)

ビジネスチャレンジ(グループ討議)

それぞれの行動宣言と計画書につい

てのグループワーク・発表・質疑

修了証授与、閉講

新春のお喜びを申しあげます。皆様のお力添えで女性部記念典を執り行わせて頂きました。女性部としましては本年二月三日には三十周年記念新年会、三月には教養講座、健康促進(身体のゆがみ)を予定して居ります。これからも二宮町・商工会・商工会青年部等の事業に協力出来ればと考えて居ります。会員の皆様、部員の皆様方の御健康と御发展を心よりお祈り申し上げます。そして女性部への一層の御支援、御指導御鞭撻をお願い申しあげます。

第1回 ビジネススブルゴを作ろう

景況感D.Iと自社の強み、IT活用のメリット

日本のインターネット市場特性、ビジネススブルゴの魅力・成功事例・経営効果ビジネススブルゴのはじめ方

第4回 ビジネススブルゴの運営

カスタマイズ

テンプレート選択、レイアウト選択、オリジナルモジュールの配置、写真処理について

その他、ツイッターの登録・設定、ツイッターフィード、ツイ割、まちツイ等についてもご教示いただき、受講生からも熱心な質疑もあり実り多い講座となりました。